

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

この試合のプレー集計

男子Dリーグ戦

石川県選抜 10

3	－	2
2	－	1
2	－	2
3	－	0

5 埼玉選抜

PSO

審判： 武松 直輝
坂井 奎太

石川県選抜	24	SH数	22	埼玉選抜
	3	速攻数	0	
	5	ST・SB	5	
	6	SH・P誘発アシスト	2	
	38%	GK阻止率	50%	
	8	EX反則数	6	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

双方、守備から速攻、アーリー、センター攻撃というリズムが似通っているだけに、退水などでの攻防が勝負の分かれ目となりそうな一戦。春JOでは、埼玉が果敢に攻撃してシュートを放つも、石川GK①三谷の好セーブ連発で石川が粘り勝ちしただけに、埼玉としてはリベンジしてリーグ戦1位抜けを狙いたいところ。

【1P】

予想通り、双方が積極的に前に出て、石川は流れからセンター攻撃、埼玉は退水やペナルティを誘発して点を取るという展開。先制点は石川が退水を誘発して⑤中村が決め、埼玉のシュートを石川GK①三谷がセーブしてからの⑥水浦のセンター攻撃で加点。対する埼玉は、泳いで退水を誘発して⑥吉川が、続いて⑪池田がペナルティを誘発して⑤菊池が決めて2-2の同点に。しかし、石川もセンター⑥水浦が退水を誘発して⑭亀口が決め、石川3-2埼玉と予想通りの展開で第1ピリオド終了。

【2P】

ピリオド開始後、埼玉⑥吉川がペナルティを誘発して⑤菊池が決めて3-3の同点に。石川もすぐさまセンター⑩前田が退水を誘発して自身が決めて1点をリード。さらに⑭亀口がペナルティを誘発し、⑦前田が決めて石川5-3埼玉で第2ピリオド終了。

【3P】

埼玉が退水を誘発して、トップ位置からエース④稲垣が決めて1点差に迫る。さらに埼玉は退水を誘発し、そこでペナルティを誘発するが、ペナルティSHを外してピンチに。しかし、そこをよくしのいで反撃。コーナースローからボールを受けた④稲垣がミドルSHをきれいに決めて同点(5-5)。石川は埼玉のSHミス突いてカウンター攻撃に出て⑨徳田が決め、その後、埼玉のオフェンス反則からセンター⑥水浦がタイミングよく切れ上がってパスを受け、豪快にネットを揺らして再び2点差。石川7-5埼玉で最終ピリオドへ。

【4P】

双方、懸命に泳ぎ合う展開で攻防が続いたが、石川センター⑥水浦が埼玉ディフェンスを上手く引き付け形となり、ルーズボールを拾った⑫小西が8点目をマーク。さらに石川センター⑥水浦がよく粘ってゴールを決め、ここで4点差に。残り時間1分を切って石川が退水を誘発。そこでタイムアウトを取って確実に決め(⑩前田)、最終的に石川10-5埼玉で石川がリーグ戦2勝をマークした。

双方、泳ぎ合う展開でユース世代を代表する試合となったが、終始、石川が主導権を握った形となった。やはり、安定したセンター攻撃という柱を有していることが大きかった。⑥水浦と⑩前田というタイプの異なるセンターを有している点で、相手側の対応を困難にさせている。特に⑥水浦の足の使い方はユース世代では抜け出しており、今後に対戦するチームがどう対策を講じてくるか。大会の行方を大きく左右することに間違いないだろう。